

2025 年 8 月 4 日
日本郵便株式会社

フードロス削減のリーディングカンパニー「クラダシ」と資本・業務提携
～「お得に買って、社会にやさしく」郵便局が提案する新しい購買スタイル～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 小池 信也／以下「日本郵便」）は、「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」をミッションに掲げ、フードロス削減を軸とした社会貢献型マーケット「Kuradashi」を展開する株式会社クラダシ（東京都品川区、代表取締役社長CEO 河村 晃平／以下「クラダシ」）と、2025年8月4日に持続可能な社会の実現および中長期的な企業価値の向上を図ることを目的に資本業務提携契約を締結いたしました。



1 資本業務提携の背景と目的

日本郵便の物販サービスでは、全国の郵便局ネットワークを活かし、生活者の多様なニーズに対応する実用商品・生活必需品などの戦略的な商品ラインナップの拡充に取り組んでいます。

このたび、フードロス削減のリーディングカンパニーであり、高齢者や健康志向層に支持される冷凍宅食サービスを展開する株式会社クラダシと提携することとなりました。本提携により、新たな領域の商品・サービスを取り込むことが可能となり、これまでにない価値の提供と物販サービスのさらなる進化を目指します。

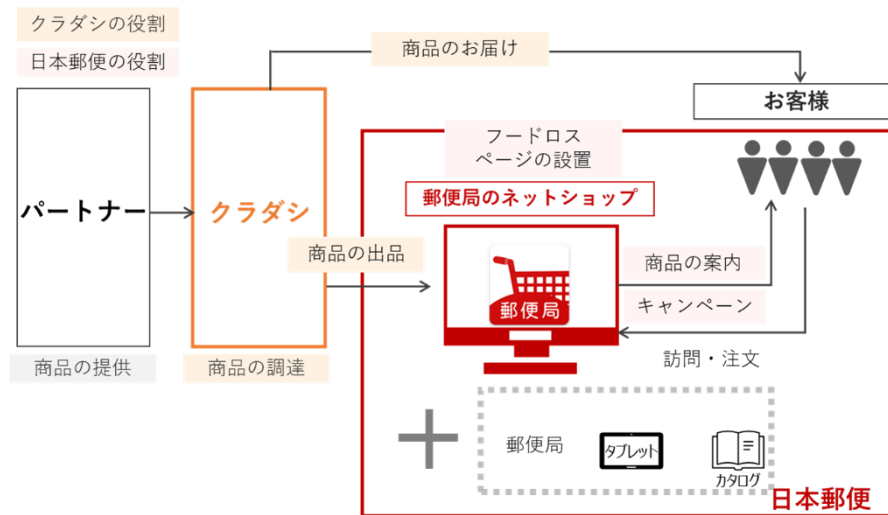
本提携は、日本郵便とクラダシの強みを掛け合わせて社会課題の解決と新たな価値創出を目指すものであり、持続可能な社会の実現に向けた重要な一歩と位置づけています。

2 本提携における取組

日本郵便とクラダシは、主に以下2つを柱として業務提携を行うこととし、具体的実施に向け協議します。

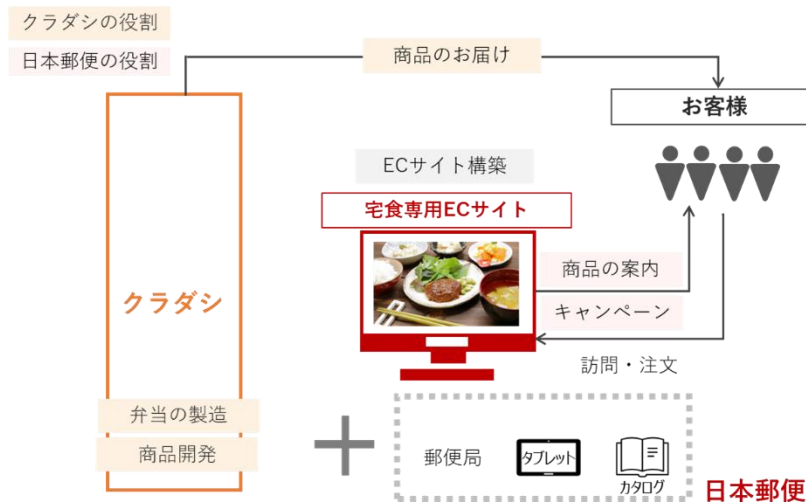
（1）郵便局ネットワークを通じたフードロス削減の取組と社会貢献の推進

クラダシが取り扱う賞味期限切迫や過剰在庫、パッケージ変更などにより通常の流通機会を失った商品を、日本郵便が展開するECサイト、一部の郵便局店舗、タブレット端末などを通じて全国の生活者に提供します。郵便局の信頼性と地域密着性を活かすことで、これまでフードロス削減商品に触れる機会が少なかった層にも幅広く訴求し、フードロス削減と「お得」な購買体験を両立させ、社会貢献を身近なものとして推進します。



(2) 郵便局による冷凍宅食サービスの開発

日本郵便とクラダシは、共同で冷凍宅食サービスを開発し、健康志向や時短ニーズに応える新たな食の選択肢の提供を目指します。クラダシの栄養管理ノウハウや制限食メニューの開発力と、郵便局ネットワークを掛け合わせることで、信頼性と利便性を両立したサービスの実現を目指します。



本提携では上記の取組に加え、今後も連携を強化し、新たなシナジー創出に向けた検討を随時進めてまいります。

3 本出資の概要

出資方法： 第三者割当の方法による募集株式の引受け

引受株式数： 1,213,900 株

出資金の額： 513 百万円

出資比率： 約 10%

出資金の払込期日： 2025 年 8 月 20 日（水）（予定）

<参考> クラダシの概要

(1) 商 号：株式会社クラダシ

(2) 代 表 者：河村晃平

(3) 本店所在地：東京都品川区上大崎 3 丁目 2-1 目黒センタービル 5F

(4) 創 立：2014 年 7 月

(5) 資 本 金：311 百万円（2024 年 6 月現在）